

# 2022年度 工学院大学学科連合委員会 総括

工学院大学学科連合委員会



委員長 大塚 勇吹



## 1. 組織構成

工学院大学学科連合委員会は新宿キャンパスに本部、八王子キャンパスに支部を置いて活動した。昨年度は3年生が13人、2年生が7人、1年生が22人の合計42人で構成され、会計局、渉内局、渉外局、企画局、広報局、資材局、オリター・アンケート局を設置し各委員をこれら7つの局に配属させ、本会の活動を行った。

## 2. 方針

工学院大学学科連合委員会は下記の目的を達成するため、本部と支部に捉われず、各委員が持つ意見と思想を尊重し合い共に活動する。また、本会に関わる他団体と情報の共有と活動・運営に協力していく。これを2022年度の活動方針とした。

## 3. 目的

工学院大学学科連合委員会は、各学科の学生から要望を集め、各団体や本学に反映させ、本会の企画や活動を通して学生間の交流を促し、知識・見聞を深めさせることで本学学生の学園生活を改善することを目的とし、活動を行う。また、学園の広報並びに本学の発展に寄与することも目的とする。

## 4. 活動内容

### a) アンケート活動

アンケート活動は本学学生の要望を集めるものであり、本会の目的を達成するために実施すべき活動である。昨年度は企画に参加した本学学生にアンケートを行った。アンケート結果から本会の活動または企画に反映することで学生の意見・要望に則した企画を行った。また、今後の本会の活動と本学の発展へと繋げるため、次年度へ引き継いだ。

### b) 前期企画

今年度も八王子、新宿の両キャンパスで、学生同士の交流を促し、今後の学生生活の改善と向上を目的として行った。八王子キャンパスでは、体育館を使用しスポーツ大会を行った。誰もが楽しめる種目を考え、団結力を高めると同時に協調性を生むことで交流を図った。新宿キャンパスでは、新宿キャンパスの食堂を使用し、ビンゴ企画を行った。両企画とも対面での開催は3年ぶりとなったが、例年通りの内容と現在の環境を考慮し、今後の前期企画として一つの基盤となった。

### c) 後期企画

八王子キャンパスのみで行った。八王子キャンパスの食堂を使用し、ビンゴを運営することで参加者同士の交流を図った。テーマに合わせた、装飾、演出、衣装を施し景品を提供した。新型コロナウイルス感染症の影響で飲食を提供することはできなかったが、交流を促すミニゲームと会場全体の設定と物語を考え、景品と共に学生生活の記憶となる企画となった。

### d) 大抽選会

新宿祭にてイベントの一つとして行った。新宿祭の来場者に対し、電子媒体でのアンケートを用意し、回答を募った。回答者に抽選でお礼品として協賛品または景品を贈呈し、新宿祭を楽しむ要素となった。今年度も多くのアンケート結果を得ることができ、本会と学園祭の発展の為に次年度へ引き継いだ。

### e) 学園祭への参加

ブレ八王子祭、八王子祭、新宿祭に参加した。ステージ企画、模擬店において参加し、運営に協力した。新型コロナウイルス感染症の影響により、学園祭実行委員会八王子祭実行部の判断で教室展示企画の中止となったが、学園祭のテーマに沿ったコンテンツを提供し、学園祭の活気に貢献した。また、学園祭全体のアンケート活動を行い、次年度の学園祭の発展に寄与した。

### f) 他大学との交流

今年度は本会主催の他大学交流会を行い、本学学園祭への招待と他大学の学園祭への参加を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で繋がりが薄れていた関係を学園祭の対面での開催や学生団体の活発化により、濃いものへ変化した。この変化を続け、本会と本学にとって有益な関係へとしていく。

## 5. 総括

2022年度は前年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響で制限はあったが、例年通りに近い活動が行えた。例年と現在の環境に差異はあった中で、今後の本会の存続と発展に大きく貢献した年度となった。今後の本会の質の高い企画と活動へと繋がる糸口とし、本会の発展していくことを今後の長期的な目標としていく。

以上を2022年度の総括とする。